



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 日本橋梁株式会社
代 表 者 代表取締役社長 坂下 清信
コード番号 5912 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役
常務執行役員 毛利 良介
TEL. 078-941-3894
URL www.nihon-kyoryo.co.jp

オリエンタル白石株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 11 月 11 日開催の取締役会において、以下のとおり、オリエンタル白石株式会社（以下「オリエンタル白石」といいます。）の株式を取得し、子会社化すること（以下「本株式取得」といいます。）について決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社は、橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設工事を主な事業内容としており、公共投資関連の工事を中心に行っております。公共投資関連工事の市場におきましては、国や地方の公共事業の見直しや公共事業予算の削減の影響により、国内の橋梁発注量が減少傾向にあり、多数の企業で受注を競い合う非常に厳しい状況になっております。

このような公共投資関連工事の市場縮小に対応するため、当社では希望退職を含む経費圧縮等のコスト削減に努めてまいりましたが、前会計年度においては受注残高の減少が影響し、損益面において厳しい結果となっております。受注量の拡大のため、全社をあげての受注活動に取り組んでおりますが、総合評価方式で受注が決まる現行の発注の仕組みにおいては、潤沢な技術者の配置、幅広い営業力・技術力に基づく総合評価方式への適応可否が受注の重要なポイントとなっております。

このような経営環境の中、当社が競合他社に競り勝って生き残りを図っていくためには、企業規模の拡大は不可避であり、単独での拡大には限界があるため、他社とのアライアンスを経営の最重要課題として検討をしてまいりました。そして、かかる検討の過程において、同じ建設業者であるが相互に補完関係のある異業種とのアライアンスにメリットがあるとの結論に至り、オリエンタル白石の株主であるフェニックス・キャピタル・パートナーズ・エイト投資事業組合（以下「PCP8」といいます。）に株式取得の申入れをし、PCP8及びオリエンタル白石との協議・交渉の結果、本株式取得を決定いたしました。

オリエンタル白石は、プレストレストコンクリートやニューマチックケーソン及び補修補強に、高い技術力と全国を網羅する営業力・現場施工力を有しており、当社が得意とする鋼構造技術と相互に補完関係を構築することができ、総合力で他社を上回ることができるものと考えております。

2. 異動する子会社（オリエンタル白石株式会社）の概要

(1) 名 称	オリエンタル白石株式会社
(2) 所 在 地	東京都江東区豊洲五丁目 6 番 52 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 井岡 隆雄
(4) 事 業 内 容	建設事業等
(5) 資 本 金	500 百万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和 27 年 10 月 21 日
(7) 大株主及び持株比率	フェニックス・キャピタル・パートナーズ・エイト投資事業組合 100%

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	平成20年12月期 (注1)	平成22年2月期 (注2)	平成22年12月期 (注3)
純資産	△6,350百万円	12,200百万円	23,365百万円
総資産	92,555百万円	69,393百万円	51,306百万円
1株当たり純資産	△194.20円	373.11円	1,168,251.31円
売上高	83,660百万円	108,372百万円	47,785百万円
営業利益	△2,653百万円	18,512百万円	4,070百万円
経常利益	△2,866百万円	18,421百万円	3,888百万円
当期純利益	△20,517百万円	18,797百万円	10,291百万円
1株当たり当期純利益	△627.41円	574.88円	514,552.26円
1株当たり配当金	—円	—円	—円

(注1) 平成20年12月期は更生手続開始決定日(平成20年12月31日)をもって終了した事業年度であり、会計期間は9ヶ月間であります。

(注2) 平成22年2月期は更生計画認可決定日(平成22年2月28日)をもって終了した事業年度であり、会計期間は14ヶ月間であります。

(注3) 平成22年12月期は更生計画認可決定日の翌日(平成22年3月1日)から開始しており、会計期間は10ヶ月間であります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	フェニックス・キャピタル・パートナーズ・エイト投資事業組合		
(2) 所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号		
(3) 設立根拠等	民法に基づく組合		
(4) 組成目的	事業者への投資事業を通じて収益を得ること		
(5) 組成日	平成22年8月30日		
(6) 出資の総額	31億5千万円		
(7) 出資者・出資比率・出資者の概要	ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	50.00%	
	日本リバイバル債権回収株式会社	50.00%	
(8) 業務執行組合員の概要	名称	フェニックス・キャピタル株式会社	
	所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号	
	代表者の役職・氏名	代表取締役 三村智彦	
	事業内容	投資業	
	資本金	10百万円	

(9) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	当該ファンドの出資者であるジャパン・リカバリー・ファンドⅢが当社の総株主の議決権に対する所有議決権の94.62%を保有しております。
	上場会社と業務執行組合員との間の関係	当該ファンドの業務執行組合員であるフェニックス・キャピタル株式会社の取締役1名及び従業員1名が当社の取締役を兼務しております。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
(2) 取得株式数	20,000株 (議決権の数：20,000個) (発行済株式数に対する割合：100%) (取得価額：5,500百万円)
(3) 異動後の所有株式数	20,000株 (議決権の数：20,000個) (所有割合：100%)

(注) オリエンタル白石は、本株式取得日(平成23年12月26日予定)以前の日を効力発生日として、現金3,500百万円を現在の株主であるPCP8に対して配当することを予定しております。なお、上記の株式取得価額(以下「本株式取得価額」といいます。)は、当該配当の実施を考慮して決定された金額です。

5. 日程

(1) 取締役会決議	平成23年11月11日
(2) 株式取得日	平成23年12月26日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得により、オリエンタル白石は当社の連結子会社になります。当社の個別業績及び連結業績に与える影響につきましては、本日開示の「連結決算への移行に伴う通期連結業績予想の公表、特別利益及び特別損失の発生並びに個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

7. 支配株主との取引等に関する事項

PCP8の出資者であるジャパン・リカバリー・ファンドⅢ(以下「JRF-Ⅲ」といいます。)は、当社の総株主の議決権の94.62%を保有しており当社の支配株主に該当しますが、PCP8に対する出資割合は過半数に満たないため、PCP8の親会社にも支配株主にも該当せず、したがって、本株式取得は、支配株主との取引等には該当しません。また、JRF-Ⅲ及びその業務執行組合員であるフェニックス・キャピタル株式会社(以下「フェニックス・キャピタル」といいます。)との間において、当社が、JRF-Ⅲ又はフェニックス・キャピタルから自由な事業活動を阻害されるような状況になく、一定の独立性が確保されております。また、当社とJRF-Ⅲ又はフェニックス・キャピタルとの間に取引上の関係は無く、JRF-Ⅲ及びフェニックス・キャピタルはいずれも当社の親会社には該当しません。

しかしながら、JRF-Ⅲ及びPCP8の業務執行組合員がいずれもフェニックス・キャピタルであることなどに鑑み、当社は、本株式取得について、支配株主との取引等に該当する場合と同様に、公平性を担保

し、利益相反を回避するための措置を講じております。

具体的には、まず、当社は、本株式取得に関する公正性・妥当性を担保するため、当社、PCP8、JRF-Ⅲ及びフェニックス・キャピタルから独立した第三者算定機関である野村証券株式会社（以下「野村証券」といいます。）に株式価値算定を依頼し、その算定結果を参考に、PCP8と慎重に交渉・協議のうえ、本株式取得価額を決定しております。また、意思決定過程における公正性・適正性を確保するため、当社の法務アドバイザーである長島・大野・常松法律事務所から、本株式取得に関する当社取締役会の意思決定の方法・過程について、公平性を担保し、利益相反を回避するための措置に関する法的助言を受けております。

また、当社の取締役のうち、渡邊彰氏及び上田耕介氏は、それぞれJRF-Ⅲ及びPCP8の業務執行組合員であるフェニックス・キャピタルの取締役及び従業員を兼務しているため、利益相反を回避する観点から当社の取締役会における本株式取得の審議及び決議には参加しておらず、当社の立場でPCP8との本株式取得の協議及び交渉にも参加しておりません。当社の取締役会における本株式取得に関する議案は、上記2名の取締役を除く取締役4名の全員一致により承認可決されており、監査役全員も賛成意見を表明しております。

なお、当社は、独立した第三者算定機関である野村証券から、本株式取得価額が当社の株主（但し、JRF-Ⅲを除く。）にとって財務的見地から妥当である旨の意見書（フェアネス・オピニオン）を平成23年11月10日付にて入手しております。

あわせて、当社は、支配株主との間で利害関係を有しない社外監査役宮口勝治氏及び独立役員である社外監査役平井利明氏より、独立した第三者算定機関からフェアネス・オピニオンを受領していること、法務アドバイザーから公平性を担保し、利益相反を回避するための措置に関する法的助言を受けていること、PCP8及び支配株主と利害関係のない役員のみにより取締役会の審議及び決議がなされていることなどに鑑み、本株式取得は、当社の少数株主にとって不利益なものではないものと認められる旨の意見を平成23年11月11日に入手しております。

以上

（参考）当期連結業績予想（平成23年11月11日公表分）及び前期連結実績

（金額単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 （平成24年3月期）	13,900	△120	△230	14,500
前期連結実績 （平成23年3月期）	—	—	—	—

（注）前期については、連結財務諸表を作成しておりません。前期の個別業績の実績は以下のとおりです。

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 （平成23年3月期）	5,549	△213	△239	△650